

伊賀市 認知症ケアパス

～認知症になっても住み慣れた地域の中で安心して暮らすために～



2023年7月

《 目 次 》

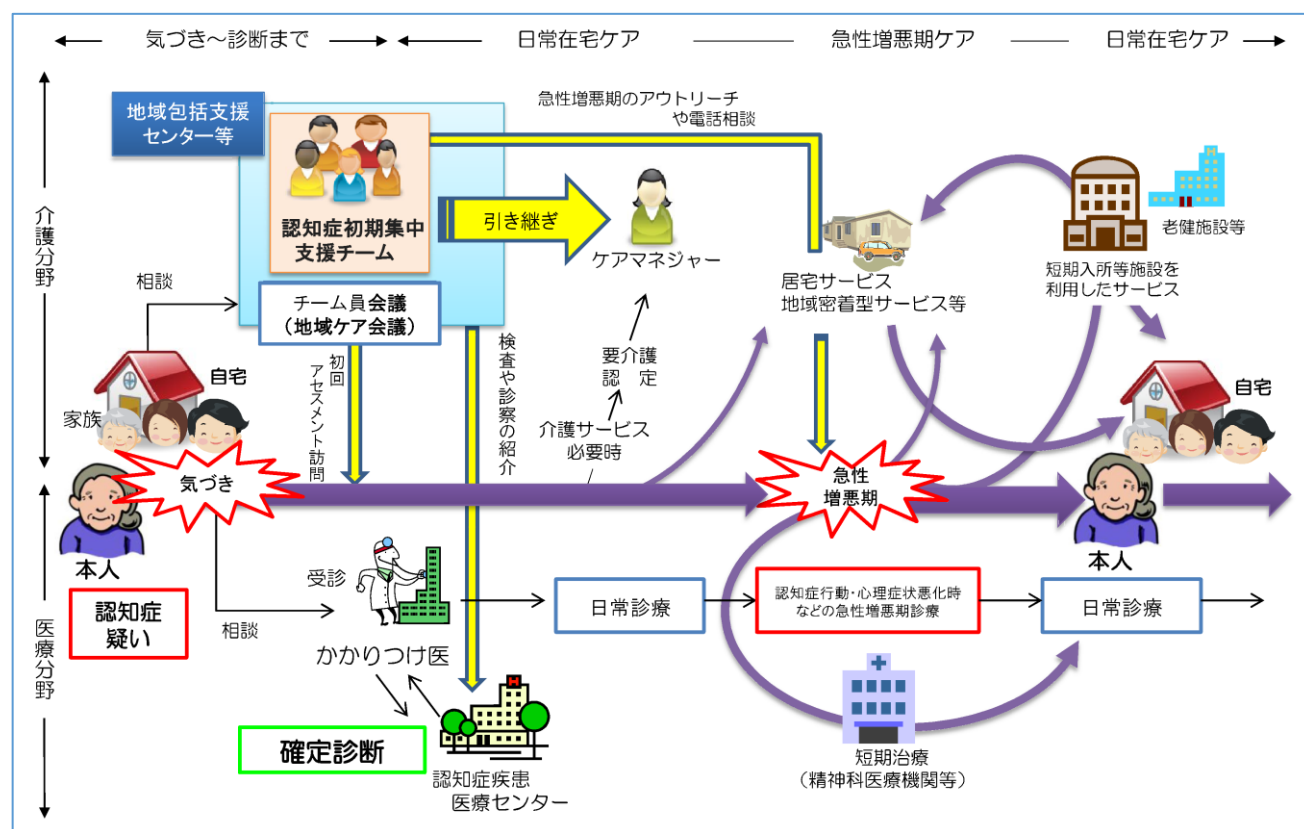
1. 「認知症ケアパス」とは？	・・・ P 1
2. 認知症とは？	
(1) 認知症とはどんな病気？	・・・ P 2
(2) 主な認知症の種類と特徴	・・・ P 3
3. 受診について	・・・ P 4
4. 認知症の初期症状をチェックしてみましょう	・・・ P 5
5. 認知症に関する正しい知識を学びましょう	・・・ P 6
6. 認知症サポーターになりましょう	・・・ P 7
7. 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく 生きるために	・・・ P 7
8. 認知症の容態と対応	・・・ P 8
9. 伊賀市認知症ケアパス一覧表	・・・ P 9
10. ケアパス一覧の各種サービス	
(1) 相談窓口	・・・ P 11
(2) 伊賀市のサービス	・・・ P 13
(3) 介護保険サービス	・・・ P 15
(4) その他の相談機関やサービス	・・・ P 16
(5) 認知症の診療を行っている専門の医療機関	・・・ P 18

1. 「認知症ケアパス」とは？

「認知症ケアパス」とは、認知症を発症したときから、生活をする上でさまざまな支障が出てきたときに、その進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいか標準的に示すものです。

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、この「認知症ケアパス」をご活用ください。

【認知症ケアパス概念図】

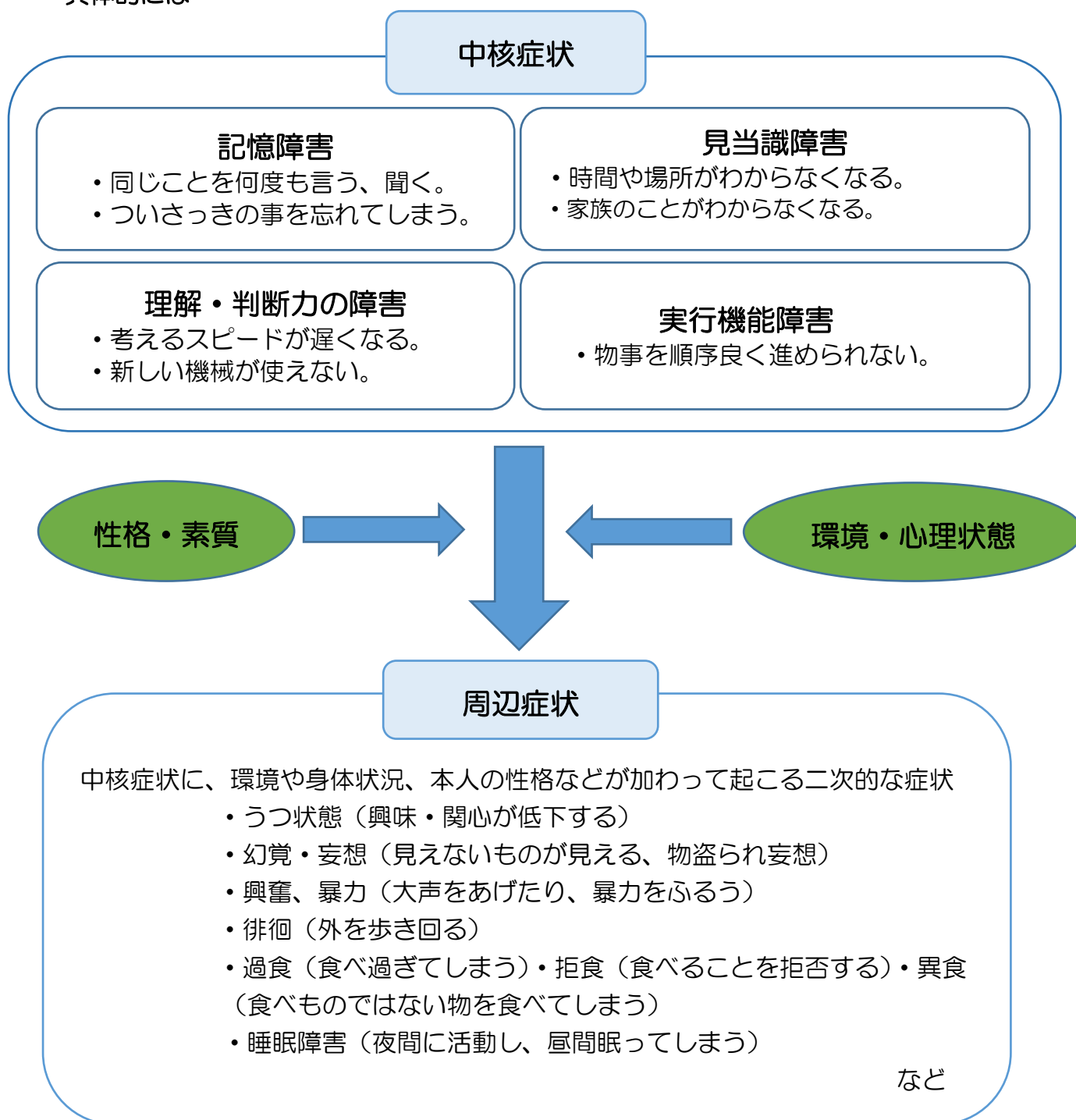


2. 認知症とは？

(1) 認知症とはどんな病気？

認知症とは、脳の細胞がさまざまな原因で死んでしまったり、働きが悪くなったりするために、いったん獲得した知的機能（記憶する、時・場所・人などを認識する、計算するなど）が低下し、日常生活を送る上でさまざまな支障が出る病気です。

具体的には・・・



(2) 主な認知症の種類と特徴

認知症の種類については、アルツハイマー型・レビー小体型・脳血管性型・前頭側頭型が代表的です。

★アルツハイマー型認知症

• どんな病気？

脳の神経細胞が広範囲で変性し、その結果脳全体が萎縮していきます。脳の変性が少しずつ進み、脳全体の機能が低下するため、重症化しやすいとされています。

• 具体的な症状

はじめは記憶障害の症状が見られ、進行すると場所や時間、人物などの認識ができなくなったり、身体的機能も低下して動きが不自由になったりします。進行の度合いには個人差があります。

★レビー小体型認知症

• どんな病気？

「レビー小体」という特殊なタンパク質が、大脳皮質全体の神経細胞内に多く出現することにより起こると考えられています。

• 具体的な症状

記憶障害が多いなど、アルツハイマー型やパーキンソン病に似ている症状がみられます。特徴として初期から「幻視」が多くみられることがあります。

※「幻視」とは・・・実際に見えないものが、本人にはありありと見える症状。
見えるものは、人や小動物、虫などが多い。

★脳血管性認知症

• どんな病気？

脳梗塞や脳出血などの脳の血管障害によって、脳細胞に十分な血液がいきわたらなくなり、脳細胞が死滅することにより起こります。

• 具体的な症状

手足のまひや視力障害など神経障害を伴うことが多く、発作を起こした部分の機能は損なわれますが、脳全体の機能が低下することは少ないです。

★前頭側頭型認知症

• どんな病気？

脳の神経細胞が前頭葉と側頭葉を中心に変性し壊れていくことによって、いろいろな症状が出てくる認知症です。

• 具体的な症状

他人に配慮することができない、周りの状況にかかわらず自分が思った通り行動してしまう、といった性格変化や行動異常がみられます。

3. 受診について

早期発見・診断・治療が重要です。

認知症は早期に発見すれば、治療によっては進行を遅らせることや、症状を軽くすることができます。

認知症の診断は早期ほど難しく、熟練した技術と高度な検査機器を要しますので、専門の病院への受診が不可欠です。

また、受診の際は、家族が診察に立ち会うことをお勧めします。本人が受診を嫌がる場合は、家族のみでも外来診察を受けることができます。

○治る病気や一時的な症状の場合がある

正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫などによる認知症様の症状は、脳外科的処置で良くなる場合があります。甲状腺ホルモンの異常の場合は、内科的な治療で良くなります。また、薬の不適切な使用が原因で認知症のような症状が出る場合があります。このため、早期受診、早期治療が大切です。

○進行を遅らせることが可能な場合がある

認知症を早期に診断し、早い時期から薬を飲んだり、周囲が適切なかわりを持つことが効果的だといわれています。進行を遅らせることで健康な時間を長くすることができます。

○準備ができる

病気のことが理解できる時点で受診し、認知症についての理解を深めておけば、本人、家族が生活上の障がい軽減でき、その後のトラブルを減らすことも可能です。また、障がいの軽いうちに後見人を自分で決めておく(任意後見制度)などの準備をしておけば、認知症はあっても自分らしい生き方を送ることが可能となります。

4. 認知症の初期症状をチェックしてみましょう

認知症の初期症状が確認できるリストです。該当する項目に○をつけてみてください

質 問 項 目	ほとんどない	ときどきある	頻繁にある
同じ話を無意識に繰り返す	0 点	1 点	2 点
知っている人の名前が思い出せない	0 点	1 点	2 点
物のしまい場所を忘れる	0 点	1 点	2 点
漢字を忘れる	0 点	1 点	2 点
今しようとしていることを忘れる	0 点	1 点	2 点
器具の使用説明書を読むのが面倒	0 点	1 点	2 点
理由もないのに気がふさぐ	0 点	1 点	2 点
身だしなみに無関心である	0 点	1 点	2 点
外出がおっくうだ	0 点	1 点	2 点
物（財布など）が見当たらないのを他人のせいにする	0 点	1 点	2 点
合 計：			点

点数の目安

0～8 点	正 常	ものの忘れも老化現象の範囲内。疲労やストレスによる場合もあります。8 点に近かったら、気分のちがう時に再チェックしてみましょう。
9～13 点	要注意	家族に再チェックしてもらったり、数ヶ月単位で間隔をおいて再チェックを。認知症予防策を生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。
14～20 点	要診断	認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックしてもらい、結果が同じなら、まずは地域包括支援センターに相談してください。

大友式認知症予測テスト～認知症予防財団 HP より抜粋～

5. 認知症に関する正しい知識を学びましょう

●認知症の人への接し方

認知症の症状が進むと、段取りがうまくできないため、今までできていたのにできなくなることが徐々に増えてきます。また、認知症特有の、言われても思い出せない「もの忘れ」が重なると、多くの人は何かが起こっているという不安を感じ始めます。誰よりも心配し、苦しみ、悲しんでいるのは認知症になった本人だということを考えながら、感情を傷つけず接することが大切です。

●認知症の人への対応の心得 ⇒3つの「ない」

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

●具体的な対応のポイント

1 まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

2 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

3 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけましょう。

4 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声がけは禁物。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました?」「こちらでゆっくりどうぞ」など。

5 相手に目線を合わせて優しい口調で

小柄な人の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

6 おだやかに、はっきりした滑舌で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした滑舌を心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

7 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。参考：全国キャラバン・メイト連絡協議会 「認知症を学び地域で支えよう」

6. 認知症サポーターになりましょう

認知症になっても安心して生活を送るためには、地域の人々の認知症への理解が必要です。日常生活に関わる人の正しい理解と協力は、認知症の人やその家族の大きな支えとなります。

●認知症サポーターとは

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族をあたたかく見守る応援者のことです。特に何か特別な活動をするということではありません。

●認知症サポーターになるには・・・

「認知症サポーター養成講座」を受講してください。1 時間半の講座を受講すれば、どなたでもなることができます。

●認知症サポーター養成講座を受講するには・・・

日時、会場、参加人数（できれば 10 名以上でお願いします）を決めた上で、介護高齢福祉課や、地域包括支援センターにお問い合わせください。

7. 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生きるために

●共生と予防をキーワードに、認知症とともに生きる、認知症の人と共に生きるまちづくりをすすめていきましょう。

※共生とは、認知症の人が尊厳と希望をもって認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる、という意味です。

※予防とは、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

●私たち一人ひとりができること

1. 知る……………認知症を正しく理解しよう
2. 相談する……………対応方法を知り、誰かに相談しよう
3. サポートする……………認知症の人を支えよう
4. 防ぐ……………認知症の発症・進行を先送りにしよう

8. 認知症の容態と対応

初 期

中 期

後 期

認知症の容態 支援の内容	認知症の疑い	認知症を有するが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助け や介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (見られる症状 や行動の例)	●物忘れは多いが、金銭管理や買い物・書類の作成などを含め、日常生活は自立している。	●物忘れが多くなり、金銭の管理や買い物などにミスが見られるようになるが、日常生活は自立している。 ●新しいことがなかなか覚えられなくなったり、約束したことを忘れてしまう。 ●やる気がなくなったり、不安が強くなるなど、うつ病のような症状がみられることがある。 ●失敗したことを指摘すると怒り出すことがある。	●服薬管理ができない。 ●電話の対応や訪問者の対応が、1人では難しくなる。 ●知っている場所で道に迷うようになる。 ●買い物など今までできたことにミスが目立つ。	●着替えや食事、トイレなど日常生活に支障をきたす。 ●「財布をとられた」「お金がなくなった」と言い出す。 ●行き先がわからなくなり、行方不明になるおそれがある。 ●時間・日時・季節がわからなくなる。 ●ついさっきのことも忘れてしまう。	●ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しくなる。 ●尿や便の失禁が増え介護の手間が増えたり、飲み込みが悪くなり食事に介護を要し、日常生活全般にわたり介護が必要。 ●言葉によるコミュニケーションが難しくなる。 ●家族の顔や使い慣れた道具の使い方がわからなくなる。
家族の接し方	●規則正しい生活を心がけ、悪化を予防しましょう。 ●認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう。 ●今後の介護や金銭管理などについて家族間で話し合っておきましょう。 ●老人クラブ・高齢者サロン・サークル活動など、社会参加ができるように働きかけましょう。	●医療や介護について知識を深めましょう。 認知症を引き起こす病気により今後の経過や介護の方法が異なります。対応の仕方によって、本人の症状を悪化させてしまう原因にもなります。周囲の適切な対応により、穏やかな経過をたどることが可能です。接し方のコツや基本などを学び理解しましょう。 ●失敗しないように手助けしましょう。 今までできていたことが少しずつできなくなり失敗が増えてきます。失敗体験は本人の自信を喪失させ、症状の悪化につながります。できるだけ失敗しない、失敗を最小限にするようなさりげないフォローをしましょう。 ●介護保険サービスなどを利用しましょう。 戸惑うような出来事が増え、介護が難しくなってきます。介護をしているご家族が休息する時間も必要です。介護者自身の健康管理にも気をつけることが大切であり、介護保険制度を上手く利用し、介護の負担を軽くしましょう。また、同じ立場の人の集まり（家族会など）で、話を聞いたり自分の気持ちを話すことも重要です。			

9. 伊賀市認知症ケアパス一覧表

認知症の容態 支援の内容	認知症の疑い	認知症を有するが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助けや 介護が必要	常に介護が必要
相談	介護高齢福祉課①・地域包括支援センター②・住民課③・認知症疾患医療センター⑤・三重県認知症コールセンター⑦-1・若年性認知症支援コーディネーター⑦-2 若年性認知症コールセンター⑧・認知症初期集中支援チーム⑩・公益社団法人認知症の人と家族の会④⑥・消費生活センター④⑨				
		居宅介護支援事業所②⑤			
仕事 役割支援	ふれあい・いきいきサロン⑨ シルバー人材センター④④				
介護予防 悪化予防 他者とのつながり	脳活性化プログラム⑥・ふれあい・いきいきサロン⑨・老人クラブ④③・介護予防事業⑪介護予防、認知症予防教室⑫・介護予防サロン⑬		通所介護②⑥・認知症対応型通所介護②⑦・通所リハビリテーション②⑧・訪問介護②⑨・訪問リハビリテーション③⑩・定期巡回・随時対応型訪問介護看護③④・小規模多機能型居宅介護③⑦		
安否確認 見守り 生活支援 介護	あんしん見守りネットワーク事業⑭・認知症サポーター②③・認知症カフェ②④-1・公益社団法人認知症の人と家族の会つどい、交流会②④-2・ ひとり歩き高齢者等見守り支援事業②①・民生委員・児童委員④②				
	緊急通報システム事業⑮・寝具洗濯サービス事業⑮⑥・訪問理美容サービス事業⑮⑦・配食サービス事業⑮⑧・介護用品購入費給付事業⑮⑨				
	ふれあい・いきいきサロン⑨・介護予防サロン⑬ 軽度生活援助事業②⑩		通所介護②⑥・認知症対応型通所介護②⑦・訪問介護②⑨・短期入所生活介護③⑤・短期入所療養介護③⑥ 小規模多機能型居宅介護③⑦		
				訪問入浴介護③①	
権利擁護	日常生活自立支援事業④⑦		成年後見制度④⑧		

認知症の容態 支援の内容	認知症の疑い	認知症を有するが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助けや 介護が必要	常に介護が必要
医療	もの忘れ外来④・認知症疾患医療センター（上野病院、こころの医療センター）⑤・上野病院デイケア⑥				
	かかりつけ医 ・ かかりつけ歯科医				
	通所リハビリテーション⑳・訪問リハビリテーション㉑・訪問看護㉒・居宅療養管理指導㉓ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護㉔				
家族支援	介護高齢福祉課①・地域包括支援センター②・認知症初期集中支援チーム⑩・認知症カフェ㉔-1・公益社団法人認知症の人と家族の会④⑥				
	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業㉕・家族介護教室開催事業④⑤				
緊急時支援 （精神行動障害が 見られる時）	認知症疾患医療センター（上野病院、こころの医療センター）⑤				
	訪問介護㉑・訪問看護㉒・定期巡回・随時対応型訪問介護看護㉔・短期入所生活介護㉖・短期入所療養介護㉗ 小規模多機能型居宅介護㉙・看護小規模多機能型居宅介護㉚・介護老人保健施設④⑩				
住まい	自宅				
	軽費老人ホーム④⑨・サービス付き高齢者向け住宅⑤①・有料老人ホーム⑤②				
	認知症対応型共同生活介護㉛				
	介護老人福祉施設④①				

※この表を参考に医療や介護サービス、その他さまざまなサービスを検討してください。まずは、1人で悩まず、かかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう。なお、各種サービスの内容やお問い合わせ先は「ケアパス一覧の各種サービス」に掲載してあります。

10. ケアパス一覧の各種サービス

(1) 相談窓口

●行政機関

担当部署名	相談内容
介護高齢福祉課 (ケアパス一覧番号①)	要介護・要支援認定、介護保険サービスに関する相談。 介護事業係 電話：26-3939 介護予防教室、介護用品（紙おむつなど）の給付に関すること。 高齢福祉係 電話：22-9634
地域包括支援センター (ケアパス一覧番号②)	保健・医療・福祉に関する総合的な相談や認知症介護のアドバイス、医療機関の受診、地域のサポートを受ける方法など、できる限り自宅で生活ができるためのお手伝いをします。 ・本庁（中部にんにんサポート伊賀） 伊賀市役所本庁1階 電話：26-1521 ・東部サテライト（東部にんにんサポート伊賀） いがまち保健福祉センター内 電話：45-1016 ・南部サテライト（南部にんにんサポート伊賀） 青山複合施設アオーネ内 電話：52-2715
住民課 (ケアパス一覧番号③)	悪質商法などの消費生活に関する相談。 住民課消費生活相談専用ダイヤル 電話：22-9626（平日9時～16時）

●もの忘れ外来（ケアパス一覧番号④）

専門的な診察やCTなどの検査を行い、認知症などの病気によるものなのか年齢によるもの忘れなのかを診断します。診断結果に応じた治療を開始するとともに、必要なケアや福祉サービスについてのアドバイスを行います。

- ・伊賀市立上野総合市民病院 住所：伊賀市四十九町 831 電話：24-1111
- ・一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院
住所：伊賀市四十九町 2888 電話：21-5010

※診療日、受付時間などは、ホームページ等で確認してください。

●認知症疾患医療センター（ケアパス一覧番号⑤）

かかりつけ医や地域包括支援センターなど関係機関と連携して、専門医療相談、鑑別診断、行動・心理症状の急性期治療等を行います。

- ・一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院

住所：伊賀市四十九町 2888 電話：21-5010

- ・三重県立こころの医療センター

住所：津市城山 1-12-1 電話：059-235-2125

※診療日、受付時間などは、ホームページ等で確認してください。

●上野病院デイケア（ケアパス一覧番号⑥）

- ・MCI（軽度認知障害）や早期の認知症と診断された方を対象に、脳活性化プログラム（認知症の進行を予防する治療の一環として行うもの）を実施します。
- ・精神症状や行動異常が著しい認知症患者について、精神症状などの軽快や心身機能の回復または維持を図るため、医師の診療に基づいて作成された患者ごとのプログラムにより、計画的な医学的管理を行います。

住所：伊賀市四十九町 2888 電話：21-5010

●三重県認知症コールセンター（ケアパス一覧番号⑦-1）

認知症の介護の悩み、医療・介護サービスの利用方法などさまざまな相談を、認知症介護経験のあるコールセンタースタッフが受けています。

電話：059-235-4165（よいろうご）

月曜日～土曜日、10時～18時 ※ただし水曜日、祝日、年末年始を除く

●若年性認知症支援コーディネーター（ケアパス一覧番号⑦-2）

三重県では、一人ひとりの若年性認知症の人が、その状態に応じた適切な支援が受けられるようにするため、若年性認知症支援コーディネーターを設置し、自立支援に関する生活指導や就労・求職活動に対する支援、家族介護者への働き方の支援などを行います。

電話：090-5459-0960

月曜日～金曜日、10時～17時 ※ただし祝日、年末年始を除く

●若年性認知症コールセンター（ケアパス一覧番号⑧）

若年性認知症特有の様々な疑問や悩みに対し、専門教育を受けた相談員がお答えします。

電話：0800-100-2707（フリーダイヤル）

月・火・木・金・土曜日、10時～15時

水曜日、10時～19時 ※ただし祝日、年末年始を除く

団体名：社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター

住所：愛知県大府市半月町3番地294

（２）伊賀市のサービス

伊賀市では、生きがいづくりや介護予防、生活支援、地域での見守りの強化のため、以下のサービスを実施しています。

ケアパス 一覧番号	サービス名 (窓口)	内 容
⑨	ふれあい・いきいきサロン (社会福祉協議会)	参加者同士が交流し、楽しいひと時を過ごすことができる場所です。高齢者の閉じこもり防止や介護予防など、ふれあい交流を目的に地域住民が主体的に運営を行います。 ■利用料 無料(ただしサロンによって参加費の負担があります。)
⑩	認知症初期集中支援チーム (地域包括支援センター)	認知症が疑われる人やその家族に対して専門家が聞き取りなどを行い、助言や提案など地域での生活が維持できるような支援を行います。
⑪	介護予防事業 (地域包括支援センター)	「基本チェックリスト」などにより、要介護状態などになることが予想される人を対象に、「運動器の機能向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」などのプログラムによる支援を通所・訪問により実施します。
⑫	介護予防、認知症予防教室 (社会福祉協議会・社会福祉法人)	骨折や寝たきりにつながる転倒の予防及び認知症予防などの講習を行います。 原則無料ですが、必要に応じ実費相当額は自己負担となります。
⑬	介護予防サロン (介護高齢福祉課)	週１回以上開催されているサロンで、介護予防活動を通じて高齢者の社会的孤立を防止するとともに、心身機能の低下を予防します。 ■利用料 サロンによって異なります。お問い合わせください
⑭	あんしん見守りネットワーク事業 (介護高齢福祉課)	地域の情報が集まりやすい病院、薬局、商店、事業所などの協力を仰ぎ、高齢者や障がい者などに対する見守りを強化しています。
⑮	緊急通報システム事業 (介護高齢福祉課)	65 歳以上のひとり暮らしの人の安全の確保や不安の解消を図るため、急病等の緊急時にボタンを押すとコールセンターにつながる装置を貸し出します。コールセンターは救急車の出動要請など緊急時の対応のほか、健康相談や月１回のお元気コールも行います。 ■利用料 無料(課税世帯は 1,000 円/月) ※ 緊急時に対応していただく協力員が必要となります。 (2～3 人)
⑯	寝具洗濯サービス事業 (介護高齢福祉課)	前年度所得税が非課税で寝具の衛生管理が困難な 65 歳以上のひとり暮らし高齢者、もしくはそれに準ずる世帯を対象に、市の委託業者が自宅を訪問し、寝具を預かり、洗濯を行います。 (市が指定する時期に年２回)

ケアパス 一覧番号	サービス名 (窓口)	内 容
⑪	訪問理美容 サービス事業 (介護高齢福祉課)	寝たきり等の状態にあるため外出して理美容サービスを受けることが困難な在宅の高齢者に対し、理容師又は美容師の訪問によるサービスを提供します。 ■対象者 要介護３・４・５の認定を受けたおおむね 65 歳以上で、在宅の人 ■利用料 理美容料金（訪問に要する費用は市が支払う）
⑫	配食サービス事業 (介護高齢福祉課)	安否確認が必要な 65 歳以上の単身世帯などで、心身の障がいや傷病などのために調理・買い物が困難な人を対象に、食事をお届けします。 ■利用料 １食 430 円
⑬	介護用品購入費 給付事業 (介護高齢福祉課)	失禁があり、常時、紙おむつ、尿取りパット、紙パンツなどを使用している在宅の高齢者に、購入費の一部を給付します。（入院中やショートステイ利用中の使用分は対象外です。）
⑭	軽度生活援助事業 (介護高齢福祉課)	在宅のひとり暮らし高齢者などが生活を続けるために必要な最小限の範囲の軽微な修繕・除草作業など、軽易な日常生活の援助事業をシルバー人材センターに委託し実施しています。 ■利用料 １時間 300 円 ※生活保護受給者は無料です。
⑮	ひとり歩き高齢者 等見守り支援事業 (介護高齢福祉課)	認知症などの理由によりひとり歩き行動が見られる高齢者等の安全の確保及び家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。 ① 『GPS（居場所を知らせる装置）』の初期登録手数料及び利用料を助成します。外出に不安のある高齢者が装置を携帯し、緊急時に家族が高齢者の居場所を確認することができます。また、GPS 利用者が外出の際に他人の物を壊したりして、法律上の損害賠償責任を負った場合のために、個人賠償責任保険を付帯しています。 ■利用料 毎月の使用料 約 600～700 円 ② 『QRコード付見守り安心シール』を交付します。携帯等で QRコードを読み取ると、公的な電話番号が表示され、そこに連絡することで身元確認につながります。
⑯	認知症高齢者家族 やすらぎ支援事業 (介護高齢福祉課)	認知症高齢者を介護するご家族が、外出時や介護疲れで休息が必要な時に、やすらぎ支援員が居宅を訪問し、ご家族に代わって見守りや話し相手をする事で、ご家族をサポートします。 ■利用料 時間に応じて負担あり（例：１時間 125 円）
⑰	認知症サポーター (地域包括支援 センター)	認知症の正しい知識や接し方を学び、自分でできる範囲で認知症の人と家族をサポートする認知症サポーターを養成しています。

ケアパス 一覧番号	サービス名 (窓口)	内 容
㊦-1	認知症カフェ (地域包括支援 センター)	認知症の人や家族、地域住民などどなたでも気軽に集まり、交流できる集いの場を月1回程度開設しています。 名称 いがオレンジカフェ 場所：伊賀市上野丸之内500 ハイトピア伊賀4階 ミーティングルーム ■利用料 無料
㊦-2	認知症の人と家族 の会つどい、交流会 (地域包括支援 センター)	認知症の人や家族が、つらさやしんどさを抱え込んでしまわないように、情報交換・近況報告の場として、月1回開催しています。 会場は、偶数月：伊賀市 奇数月：名張市 ■参加費 200円(会員は100円)

(3) 介護保険サービス

介護高齢福祉課や、地域包括支援センターにお問い合わせください。

ケアパス 一覧番号	サービス名	内 容
㊦	居宅介護支援	ケアマネジャーがケアプランの作成を行います。 そのほか、介護サービスを利用する支援を行います。
㊦	通所介護 (デイサービス)	通所 通所介護施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための支援を日帰りで行います。 認知症の人を対象にデイサービスを行う施設などで、日常生活上の介護や機能訓練などの介護サービスを行います。 介護老人保健施設や医療機関などで、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のためのリハビリテーションを、日帰りで行います。
㊦	認知症対応型 通所介護	
㊦	通所リハビリ テーション (デイケア)	
㊦	訪問介護 (ホームヘルプ)	訪問 ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事などの身体介護や調理、洗濯、掃除などの生活援助を行います。 居宅での生活機能向上のために、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が訪問によるリハビリテーションを行います。 介護職員と看護職員が移動入浴車などで居宅を訪問し、浴槽を提供しての入浴介護を行います。 疾患などを抱えている人について、看護師などが居宅を訪問して、療養上の看護や診療の補助を行います。 通院が困難な人に対して、医師・歯科医師・薬剤師・管理栄養士などが訪問し、薬の飲み方や食事などといった療養上の管理や指導を行います。 日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応を行います。
㊦	訪問リハビリ テーション	
㊦	訪問入浴介護	
㊦	訪問看護	
㊦	居宅療養 管理指導	
㊦	定期巡回・随時対 応型訪問介護看護	

ケアバス 一覧番号	サービス名	内 容	
③⑤	短期入所生活介護 (ショートステイ)	宿 泊	介護老人福祉施設などに短期間入所して、日常生活上の支援や機能訓練などを行います。
③⑥	短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)		介護老人保健施設などに短期間入所し、医療によるケアや介護、機能訓練などを行います。
③⑦	小規模多機能型 居宅介護	複 合 型	施設への通いを中心に、居宅への訪問や短期間の宿泊を利用者の選択に応じて組み合わせ、多機能な介護サービスを行います。
③⑧	看護小規模 多機能型居宅介護		利用者の状況に応じて、小規模な居住型の施設への「通い」、自宅に来てもらう「訪問」(介護・看護)、施設に「泊まる」サービスを柔軟に行います。
③⑨	認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	居 住	認知症の人が共同生活する住居で、日常生活上の介護や機能訓練などの介護サービスを行います。
④⑩	介護老人保健施設	施 設	リハビリに重点をおいた介護を受ける施設です。医学的な管理のもとで介護や看護・リハビリを受け、家庭での安定した生活の復帰を支援します。
④⑪	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が入居する施設。日常生活上の支援や介護を行います。

(4) その他の相談機関やサービス

〈地域での見守り〉

ケアバス 一覧番号	相談者	役 割
④②	民生委員・児童委員	担当する地域において、住民からのさまざまな相談に対し、必要な支援が受けられるよう、行政など地域の専門機関への「つなぎ役」として活動を行います。 また高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認を行います。 ■問い合わせ先 伊賀市民生委員児童委員連合会事務局 住所：伊賀市平野山之下380番地の5 伊賀市総合福祉会館1階 電話：21-5866

〈生きがいつくりと介護予防〉

ケアパス 一覧番号	サービス名	内容 ・ 問い合わせ先
④③	老人クラブ	仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする活動を行います。 ■問い合わせ先 伊賀市老人クラブ連合会事務局 住所：伊賀市平野山之下380番地の5 伊賀市総合福祉会館1階 電話：21-5866
④④	シルバー人材センター	高齢者が、経験と能力を活かしながら働くことを通じて、地域社会に貢献し生きがいと追加的収入を得ることを目的にしています。 ■問い合わせ先 公益社団法人伊賀市シルバー人材センター 住所：伊賀市西明寺 2782 番地の 92 電話： 24-5800

〈家族の介護支援〉

ケアパス 一覧番号	サービス名 (窓口)	内 容
④⑤	家族介護教室 開催事業 (社会福祉法人・ 社会福祉協議会)	高齢者の介護をされている人、以前に介護をされていた人、これから介護される人を対象に、介護の方法や知識などを学んでいただく教室です。
④⑥	公益社団法人 認知症の人と 家族の会	認知症介護という同じ悩みを持つ家族同士、悩みを相談し合い、励ましあう会です。介護についての情報交換や研修会、会報の発行などを通して、認知症の人とその家族への支援を行います。 ■問い合わせ先 三重県支部 電話：059-227-8787

〈権利擁護に関する相談窓口〉

ケアパス 一覧番号	サービス名	内 容
④⑦	日常生活自立 支援事業	判断能力の低下に伴い、福祉サービスの利用方法や預貯金の管理に不安を感じている方に、以下の援助を行います。 ① 福祉サービス利用の援助 ■利用料 1回 1,200円 ② 日常的金銭管理サービス ③ 書類等預かりサービス ■利用料 年間3,000円(250円/月) ■問い合わせ先 伊賀市社会福祉協議会 いが日常生活自立支援センター 住所：伊賀市平野山之下380番地の5 伊賀市総合福祉会館1階 電話： 21-9970

④⑧	成年後見制度	成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などの理由で、判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。 いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく安心した生活をするために、伊賀地域福祉後見サポートセンターが、制度利用についての説明や相談支援、ならびに、家庭裁判所への申立て手続き支援などを行います。 ■問い合わせ先 伊賀地域福祉後見サポートセンター 住所：伊賀市平野山之下380番地の5 伊賀市総合福祉会館1階 電話：21-9611
④⑨	消費生活センター	認知症の高齢者をねらった振り込め詐欺や悪質商法が増えています。もし、不振な電話や訪問があった場合は、まずは誰かに相談するなど、確認をしましょう。 ■問い合わせ先 三重県消費生活センター ※消費生活相談 専用電話 059-228-2212

＜住まいに関する情報＞

ケアパス 一覧番号	名称	内 容
⑤⑩	軽費老人ホーム	身の回りのことは自分でできるものの、身体機能の低下により自宅での生活に不安がある高齢者が入居し、その自立した生活を支援するための施設で、食事や生活相談などのサービスの提供を行います。
⑤⑪	サービス付き 高齢者向け住宅	安否確認や生活相談などのサービスが提供される高齢者向けの住宅です。
⑤⑫	有料老人ホーム	食事や日常生活の援助が受けられる高齢者向けの住宅です。

介護高齢福祉課または地域包括支援センターにお問い合わせください。

（５）認知症の診療を行っている専門の医療機関

医療機関名	所在地	電話番号
伊賀市立上野総合市民病院	伊賀市四十九町831番地	24-1111
一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院	伊賀市四十九町2888番地	21-5010
おおのクリニック	伊賀市服部町2丁目97番地	22-1220

診療時間・診療方針・診療内容などについては、医療機関により異なります。
詳細につきましては、直接、医療機関へお問い合わせください。

問い合わせ先

伊賀市 健康福祉部

介護高齢福祉課 高齢福祉係

〒518-8501

三重県伊賀市四十九町3184番地

電 話 : 0595-22-9634

FAX : 0595-26-3950

Eメール : kaigo@city.iga.lg.jp



